

多重選択反応検査

(Multiplex Selective Reaction Test)

【概要】

現行の運転適性検査の一つである反応速度検査の機能を拡張しました。本検査は、ノートパソコンと反応装置、そしてプログラムから構成されています。検査では、ランダムに提示される3種類の色、形、音(合計9種類)に対して、9つのボタンの中から対応するものを、できるだけ速く、正確に押すことが求められます。反応が遅れると、遅れを示す画面の表示と大きな音が鳴ります。この検査は、異常時等に対する総合的な対処能力を測ることを目的としたものです。

【特徴】

検査で得られた成績と、事故との対応を分析し、現行の反応速度検査と同等以上の有効性が確認されています。また、ヒューマンエラーとの対応を検討した結果、多重選択反応検査のほうが現行の反応速度検査よりもエラー傾向との対応が強く、多くのエラーパターンと対応していることを確認しています。さらに、現行の反応速度検査では見られなかった、異常時能力との対応があります。



多重選択反応検査(ノートパソコンと反応装置)

【用途】

多重選択反応検査は、「動力車操縦者運転免許に関する省令の事務取扱い等の運用について」(平成30年3月30日国鉄安第111号)により、「動力車操縦者運転免許に関する省令の事務取扱いについて」(昭和41年8月9日鉄運第109号)第12項の「反応速度検査」の1つとして認められ、運転適性検査の一つとして使用可能です。

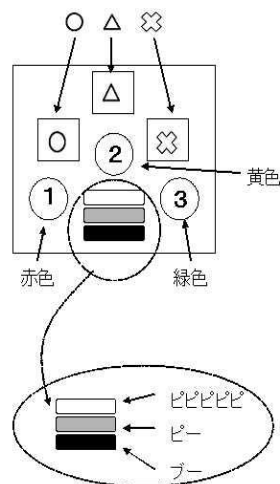
それでは、最後の練習をします。

これまで練習してきた「色」、「形」、「音」を
実際の検査と同じように、ばらばらな順番で出しますので、
 それぞれにあたるキーを押してください。

では、

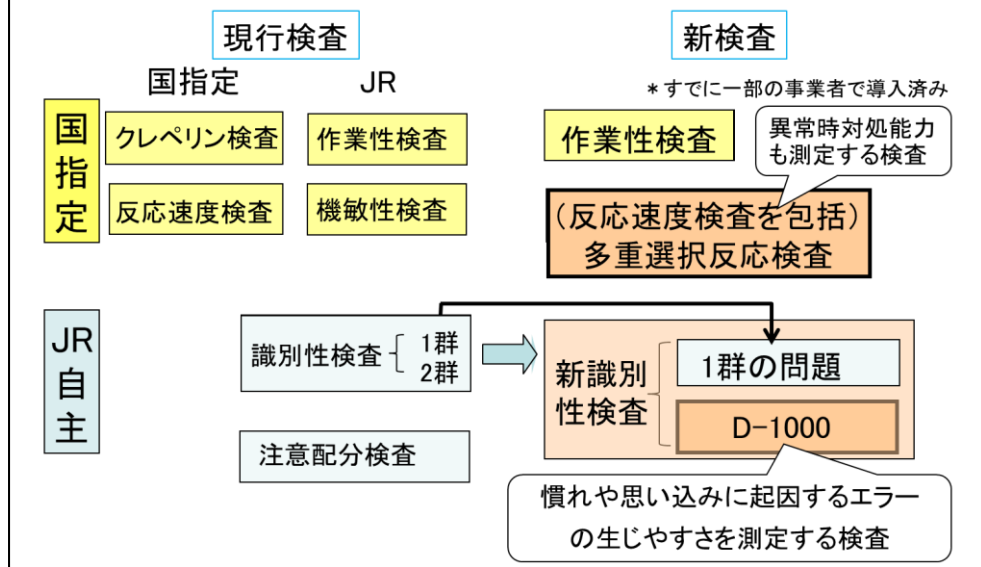
- 両手をキーボードの外側に置いてください。
- キーは、どちらか**片方**の手で押してください。
- キーは、できるだけ**早く**、**正確**に押してください。

「3」のキーを押すと練習が始まりますので、
 キーを押してください。



パソコン画面の表示例

運転適性検査の検査変更の現状



運転適性検査内容の変更内容

【実施例】

鉄道事業者で活用されています。

担当 人間科学研究部(安全心理)